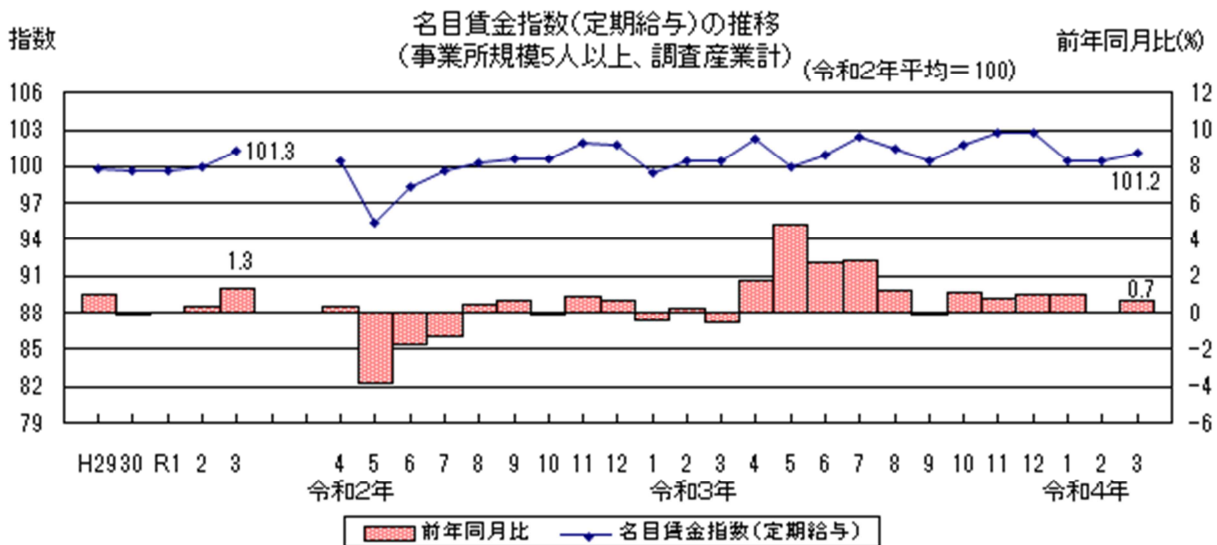


定期給与2か月ぶりに前年同月を上回る 毎月勤労統計調査地方調査結果（令和4年3月分）

令和4年3月分の静岡県の賃金、労働時間、雇用の動きについて調査結果を公表する。
（事業所規模5人以上、調査産業計）

1 賃金

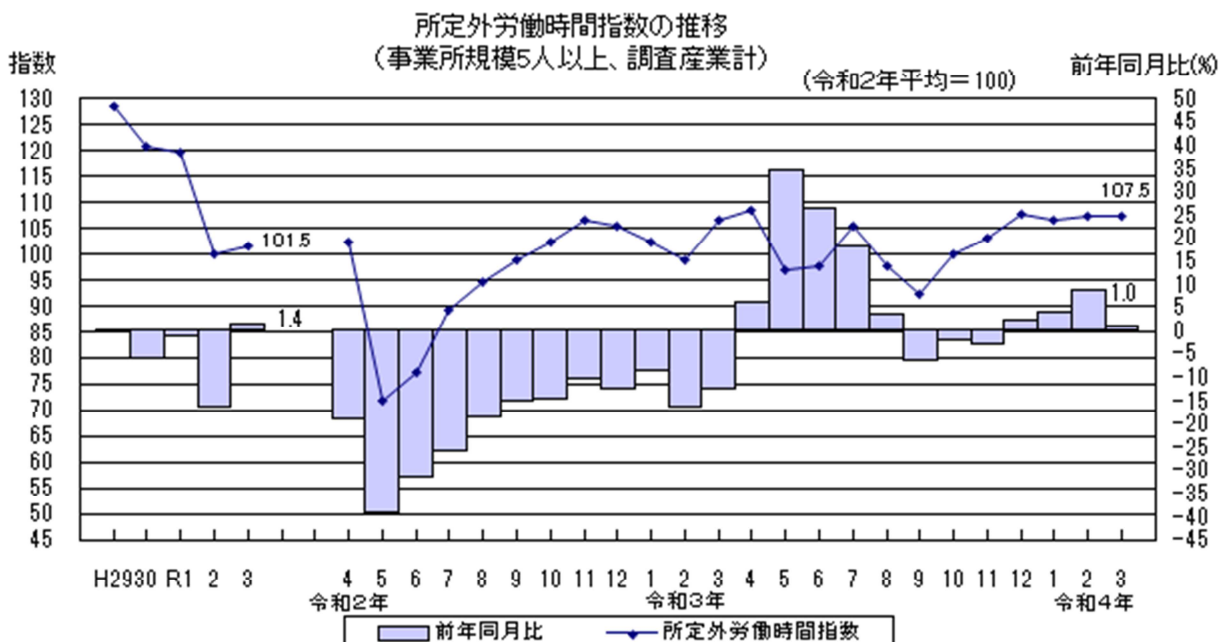
1人平均月間定期給与（所定内給与＋超過労働給与）は255,558円、名目賃金指数（定期給与）は101.2で、前年同月比0.7%増と2か月ぶりに前年同月を上回った。



2 労働時間

1人平均月間所定外労働時間は10.0時間、所定外労働時間指数は107.5で、前年同月比1.0%増と4か月連続で前年同月を上回った。

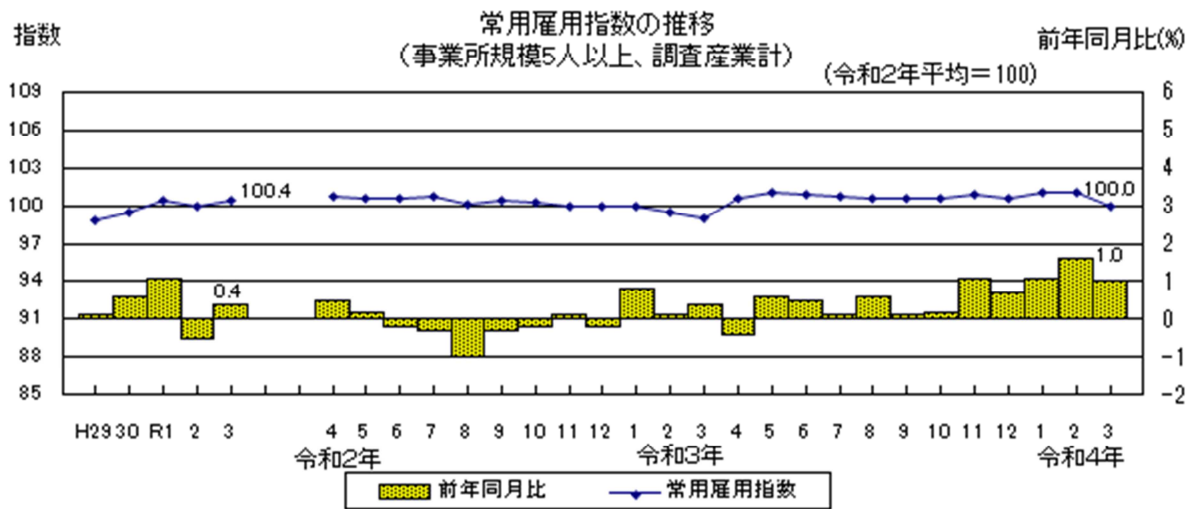
常用労働者の約3割を占める製造業の所定外労働時間は14.1時間、所定外労働時間指数は123.7で、前年同月比5.4%増と4か月連続で前年同月を上回った。



3 雇用

本月末常用労働者数は1,407,903人、常用雇用指数は100.0で、前年同月比1.0%増と11か月連続で前年同月を上回った。

なお、パートタイム労働者比率は31.1%で、前年同月差0.6ポイント増と3か月連続で前年同月を上回った。



<参考>

1 事業所規模30人以上の結果 (調査産業計)

- (1) 定期給与は283,332円で、前年同月比1.4%増と12か月連続で前年同月を上回った。
- (2) 所定外労働時間は12.2時間で、前年同月比6.4%増と4か月連続で前年同月を上回った。
- (3) 常用労働者数は840,077人で、前年同月比0.7%増と19か月連続で前年同月を上回った。

2 事業所規模別定期給与、所定外労働時間及び常用労働者数

事業所規模5人以上

| 産 業 | 定期給与 | | | 所定外労働時間 | | | 常用労働者数 | | |
|---------------|---------|--------|-------|---------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| | 実数 | 指数(名目) | 前年同月比 | 実数 | 指数 | 前年同月比 | 実数 | 指数 | 前年同月比 |
| | 円 | | % | 時間 | | % | 人 | | % |
| 調 査 産 業 計 | 255,558 | 101.2 | 0.7 | 10.0 | 107.5 | 1.0 | 1,407,903 | 100.0 | 1.0 |
| 製 造 業 | 309,445 | 105.8 | 2.8 | 14.1 | 123.7 | 5.4 | 379,522 | 100.0 | 3.7 |
| 卸 売 業 , 小 売 業 | 191,210 | 89.2 | -1.1 | 5.6 | 94.9 | 5.1 | 219,438 | 98.9 | -0.8 |
| 医 療 , 福 祉 | 267,305 | 101.3 | 2.3 | 5.7 | 96.6 | 20.3 | 188,295 | 100.1 | 0.6 |

事業所規模30人以上

| 産 業 | 定期給与 | | | 所定外労働時間 | | | 常用労働者数 | | |
|---------------|---------|--------|-------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| | 実数 | 指数(名目) | 前年同月比 | 実数 | 指数 | 前年同月比 | 実数 | 指数 | 前年同月比 |
| | 円 | | % | 時間 | | % | 人 | | % |
| 調 査 産 業 計 | 283,332 | 103.0 | 1.4 | 12.2 | 117.3 | 6.4 | 840,077 | 100.2 | 0.7 |
| 製 造 業 | 328,403 | 105.2 | 3.0 | 15.5 | 125.0 | 7.5 | 295,817 | 99.8 | 2.3 |
| 卸 売 業 , 小 売 業 | 191,968 | 88.0 | -4.5 | 7.2 | 105.9 | 11.2 | 80,079 | 98.7 | -1.6 |
| 医 療 , 福 祉 | 301,645 | 100.5 | 3.4 | 6.8 | 98.6 | 25.1 | 122,407 | 99.6 | -0.3 |

<利用上の注意>

- (1) この調査結果の数値は、調査事業所からの報告を基にして、本県の事業所規模5人以上のすべての事業所に対応するよう復元して算定したものである。
- (2) 現在の基準年は令和2年であり、指数は「令和2年平均=100」とする。
- (3) 対前年(前月)比等の増減率は、原則として指数により行っているため、実数から算定した場合とは必ずしも一致しない。